

# 開放授業 募集要項

平成 28 年度後期(平成 28 年 9 月末～平成 29 年1月)



授業期間 : 平成 28 年 9 月末～平成 29 年 1 月(1 科目につき、週 1 回・全 15 回の講義)

募集期間 : **平成 28 年 7 月 1 日(金)～7 月 29 日(金) ※必着**

受講資格 : 18 歳以上の方

募集定員 : 各科目若干名(応募者が定員を上回った場合は抽選)

受講料 : 1 科目 5,000 円(別途、テキスト代の費用負担が生じる場合あり)

対象科目 : 別途定める科目 ※講義の日時・内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。

申込方法 : 募集要項の「開放授業申込書」を持参、郵送または FAX で申込

申込先 : 宮崎公立大学 地域研究センター 開放授業窓口  
(TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773)



## 目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 開放授業の概要               | 1  |
| 2. 受講までの流れ               | 1  |
| 3. 受講に際して                | 2  |
| 4. お問い合わせ先               | 3  |
| 5. 申込上の注意                | 4  |
| 6. 科目一覧（平成28年度後期開放授業）    | 5  |
| 7. 科目一覧早見表（平成28年度後期開放授業） | 10 |



## 1. 開放授業の概要

開放授業とは、宮崎公立大学の講義の一部を地域住民の皆さまに公開し、学生と一緒に授業を受けることができる取り組みで、平成20年度から実施しています。

## 2. 受講までの流れ

### ①受講希望科目の決定

- ・募集要項内の「6. 科目一覧（平成28年度後期開放授業）」（5～9ページ）をご参照の上、受講したい授業を決めてください。
- ・申込科目数に制限はありませんが、「6. 科目一覧（平成28年度後期開放授業）」に記載の募集人員を超えた場合、受講できない場合があります。

### ②必要書類の提出

- ・「開放授業申込書」を平成28年7月1日（金）から7月29日（金）までに、下記の開放授業窓口  
に直接提出していただくか、郵送（7月29日（金）必着）またはFAX（FAX番号：0985-20-4773）  
で申し込みください。（直接提出の場合は、平日の9時～17時）

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階  
宮崎公立大学地域研究センター 開放授業窓口 宛

### ③選定結果の通知

- ・募集人員に応じて選定を行い、平成28年8月中旬頃に、申込者全員に選定結果を郵送によりお知らせする予定です。

### ④オリエンテーションの実施

- ・受講決定者を対象としたオリエンテーションを、平成28年9月中旬ごろに本学にて実施する予定です。内容は、特にご質問の多い時間割や休講・補講に関するを中心とした、受講に関する案内を予定しています。詳しくは別途ご案内します。

### ⑤受講料の納付

- ・受講料（5,000円）は、オリエンテーション実施日から該当する授業開始日までに、地域研究センター開放授業窓口にて現金で納付していただきます。なお、一旦納付された受講料は、理由のいかんを問わず、一切返還できませんのでご了承ください。

### ⑥受講者証の発行

- ・受講決定後、受講料を納入された方には、受講者証を発行しますので、学内では必ず携帯されるようお願いします。

### 3. 受講に際して

#### ①受講者の義務

・受講者は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障を来さないよう努めていただくとともに、担当教員の指示に従ってください。

#### ②受講の停止

・受講者が本学の諸規定に違反したとき、学内の秩序を乱したとき、またはその他受講者としてふさわしくない言動をした場合は、受講を停止することがあります。なお、受講停止の場合であっても、納付済みの受講料は返還いたしません。

#### ③単位認定について

・開放授業の受講者には、単位認定はできません。

#### ④定期試験について

・定期試験の受験はできませんのでご了承ください。

#### ⑤テキスト代について

・受講者が授業で使用するテキスト代は、受講料に含みません。別途、受講者の個人負担となります。テキストは受講決定後、学内で販売しますので、追ってご案内します。

#### ⑥講義「自然災害と防災・減災」について

・受講料（5,000 円）以外に、授業で使用するテキスト代 3,000 円が必要になります。

・「防災士」資格を取得するには、以下の条件を満たす必要があります。

\* 8割以上の出席があり、欠席した講義は録画視聴により受講し、全ての講義を受講していること。

\* 課題レポートを期限内に全て提出していること。

\* 「防災士資格取得試験」（受験料 3,000 円が必要）に合格し、「防災士認証登録申請」（申請料 5,000 円が必要）を行い、地域消防署や日本赤十字社が行う「救急救命講習」の修了証があること。

（平成 29 年 1 月、宮崎公立大学にて、日本防災士機構により防災士資格取得試験が実施される予定）

#### ⑦休講・補講について

・担当教員の出張等によって授業ができない場合は、休講になります。その際は、連絡事項を学内の掲示板（インフォメーションホール内）に掲示します。原則として、緊急な場合を除いて受講者の皆様への電話等による休講等の連絡は行いません。

・休講が生じた場合には、その都度補講を実施していきます。補講は、主として月・火・金の6時限（18:00～19:30）や11月～12月の土曜日に随時開講します。よって補講は、通常の間割とは異なる曜日・時限で受講していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

#### ⑧連絡先の変更

・お申込み後、連絡先が変更になった場合は、開放授業窓口まで速やかにご連絡をお願いします。

#### ⑨通学方法

・車で通学される方は、大学の東側駐車場をご利用ください。ただし、駐車場内及び敷地内でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

#### ⑩施設の利用

・受講者は、本学図書館、売店・食堂等の施設を利用することができます。

#### ⑪学内でのWi-Fi利用

・受講者は、申請を行うことで本学の学内Wi-Fiを利用することができます。

## 4. お問い合わせ先

開放授業に関するお問い合わせは、下記窓口までお願いします。

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階  
宮崎公立大学地域研究センター 開放授業窓口  
TEL：0985-20-4772 / FAX：0985-20-4773  
執務時間：月～金曜（祝日を除く） 9:00～17:00

## 5. 申込上の注意

① 授業時間は下記のとおりです。

|      |     |             |      |     |                  |
|------|-----|-------------|------|-----|------------------|
| <午前> | 1時限 | 8:50~10:20  | <午後> | 3時限 | 13:00~14:30      |
|      | 2時限 | 10:30~12:00 |      | 4時限 | 14:40~16:10      |
|      |     |             |      | 5時限 | 16:20~17:50      |
|      |     |             |      | 6時限 | 18:00~19:30 (補講) |

② 講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

③ 受講者の選定については、科目ごとの応募者が定員を上回った場合には、「抽選」により受講者を選定します。

④ 今回開講する18科目のうち、「日本国憲法入門」と「自然災害と防災・減災」の2科目を除く16科目が基幹科目となっています。基幹科目として開講する16科目については、カリキュラム上、専門基礎科目と呼ばれる専門的な知識の基礎を学んだことを前提に開講される科目であり、若干、内容が難しくなります。その点を踏まえて、受講をご検討ください。

## 6. 科目一覧 (18科目)

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

### 1 宮崎地域研究

【永松 敦 教授】 木曜1時限 定員：5名

#### 【講義内容】

宮崎県内を山・里・海に分けて各々の文化的特質を明らかにし、さらに、文化を用いた観光などの現代的課題についても考えていきます。具体的には、神楽・狩猟・景清伝説・和泉式部伝説・平家落人伝説・海の信仰・漁業・伝統的建造物群の保存と活用などを取り上げます。大学近隣で、八紘一宇の石塔のある下北方町は、『平家物語』に登場する景清の伝説の地で、墓石が伝えられています。また、都城市では人形浄瑠璃「出世景清」が伝承されています。このような伝承文化の意味を考えます。

#### 【受講生へのメッセージ】

都城市山之口文弥節人形芝居（11月20日）、宮崎市内海、野島神社神楽（11月23日）昼神楽の見学をお勧めします。

### 2 異文化間コミュニケーションB

【ダッカー ネイサン 助教】 月曜3時限 定員：5名

#### 【講義内容】

This class examines the question of multiculturalism. In simple terms this means what can we and governments do to help people from different cultures live alongside each other peacefully and happily. We discuss various issues such as educational policies, immigration policies, housing policies and so on as well as questions of business rules and ethical living.

※英語での講義です。

#### 【受講生へのメッセージ】

Each class will require some preparatory homework and involve watching and discussing video and other materials in class. Please be ready to join in with your classmates.

### 3 文化人類学

【李 善愛 教授】 水曜3時限 定員：2名

#### 【講義内容】

本講義では、人間の営みのすべてを包括する文化という概念を大切にする文化人類学の基礎を学びます。グローバル化の影響で、文化の境界を超える人、モノ、情報の交流が盛んになることで、異文化・異民族との交流や接触が身近で日常化しています。そこでフィールドワーク（現地調査）という手法で文化研究をする文化人類学という学問から異文化理解や他者理解を目指していきます。

#### 【受講生へのメッセージ】

多様な社会・文化が共存するグローバル時代を生きるための異文化理解・他者理解について一緒に考えたい。

### 4 現代イギリス小説

【中山 本文 教授】 木曜3時限 定員：5名

#### 【講義内容】

英語で書かれた物語の精読を通して、読解力をつけながら人間性についての洞察力を養います。授業では以下の点に留意します。

- 1) 作家の生い立ちや作品の時代背景を考慮に入れ、作品の考察を行う。
- 2) 音読を入念に行う。
- 3) 語彙、語法、文法、修辞法などの理解を確認する。
- 4) 運用能力を育成するために、英語or日本語による質疑応答を行う。
- 5) 読み取った内容をそれぞれ自分の言葉で発表する。(英語 or 日本語)

#### 【受講生へのメッセージ】

授業では4人の作家 (S. Maugham D. Lessing R. Dahl Saki) の短編小説をそれぞれの表現法に留意しながら、時間をかけてじっくり読んでいきます。授業の到達目標は以下の通りです。

- 1) 様々な作家の小説を深く読むことが出来る。
- 2) 文学作品の考察を通して、人間性について幅広く理解できる。
- 3) 様々な文章の理解力が身についている。
- 4) 自分の考えを分かりやすく人に伝えることが出来る。

## 5 中国文化論

【田宮 昌子 准教授】木曜2時限 定員:5名

### 【講義内容】

“中国”は古い文明国であるだけでなく、21世紀の世界秩序形成に深く関わる勢力です。国際文化学科に学ぶ学生ならば、中国について特別な知識がなくても、新世紀の国際社会における主役の一つとしてその存在感は意識しているでしょう。しかし、学生の中国認識は概ね漢文の授業や漫画などで触れた「古典中国」と、マスコミ報道で触れる改革開放後の「現代中国」に分裂しているようです。ワールドニュースを賑わす外交交渉や中国市場でのビジネスチャンスに目を引かれる向きには「古典中国」は今現在とは接点のない死んだ世界に映りがちであるし、一方「古典中国」愛好者にはいま目の前にある「現代中国」は自分の愛する世界とは容易に結びつかない取っ付きにくい存在に見えがちです。しかし、これら二つは有機的な繋がりを持った不可分の一体です。本講義の狙いは、この隔絶を埋めること、国際人として活躍すべく本学に学ぶ学生に対し、現代国際社会を形成する一要素としてのトータルな中国理解を培うことを狙いとしします。

### 【受講生へのメッセージ】

本講義は長年上記の趣旨のもと開講して来ていますが、具体的内容や重点は毎年異なります。近年は「ふたつの中国」～「古典中国」と「現代中国」～の繋がりを日本が歴史的に中国と持ってきた関係と絡めながら見ています。講師は中国の文学と思想を専門としていますが、この領域についての学生の知識は非常に乏しく、よって関心も非常に低いのが実情です。一方、対中イメージは「反日」に集中し、対中認識のみならず、世界認識をさえいびつにしかねない状況です。このため、前近代の経緯を踏まえながら、近現代、特に日中戦争期に焦点を当て、「日本は中国とどう向き合ってきたのか」「日本にとって中国はどのような存在であったのか」「この地域に開かれるべき相互関係はどのようなものであるのか」…このような一連の問いについて考える手がかりを提示したいと思います。

## 6 英語学概論

【福田 稔 教授】月曜5時限 定員:5名

### 【講義内容】

この授業では英語学の基礎を学ぶことが大きな目標である。具体的には、次の事柄を到達目標とする。

- (1) 英語学にはどのような研究分野があるのか理解する。
- (2) それぞれの研究分野で、どのように英語を分析するのか理解する。
- (3) 自分でも基礎的な英語の分析ができるようになる。

授業では、基本概念を分かりやすく解説すると同時に、最近の理論言語学の研究成果も紹介する。英語の例だけでなく、日本語の具体例も活用して理解を助ける。また、自ら考えて答えを発見する訓練をするために、授業中に問題を解いて頂く。また、既習事項の復習のための小テストも行う。

### 【受講生へのメッセージ】

英語の用例は中学～高校1年レベルです。英語を理論的にどのように分析するのかという学術的な解説が中心となります。英語の実践力を養成する授業ではなく、学術的な側面が極めて強い授業となります。

## 7 倫理学

【川瀬 和也 助教】水曜3時限 定員:5名

### 【講義内容】

倫理学は、「われわれ人間はどのように生きるべきか」や「どのような行為をすることが道徳的に推奨されるのか」を探究する、哲学の一分野である。この科目ではまず、「倫理学はなぜ必要か」という問題について、倫理的な主張は主観的か、文化に相対的かといった観点から考える。その後、功利主義、義務の倫理学、徳の倫理学という、現代の倫理学において有力と見なされている三つの立場を紹介し、倫理学を体系的に理解することを目指す。

### 【受講生へのメッセージ】

倫理学は、「人間はどう生きるべきか」という実践的なテーマに、論理的な思考法を駆使して体系的にアプローチしようとする学問です。受講されると、自分自身の考え方を見つめなおすきっかけにもなると思います。

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 8 広告文化論

【森津 千尋 准教授】月曜4時限 定員:3名

### 【講義内容】

広告は、単に商業的な宣伝活動や媒体というだけではなく、現代消費社会を映し出す鏡だともいえます。本講義前半では、日本において「広告」がどのような過程を経て成立したのかについて考えます。さらに後半では、記号論的なアプローチから広告の意味構造を理解することにより、ジェンダーの問題やステレオタイプなど、現代社会の構造や文化について考えていきます。

### 【受講生へのメッセージ】

この講義は、ふだん何気なく見ている広告から「現代社会」の在り方を読み取っていくことを目的としています。講義は、受講者の理解の程度を見ながら進めていきますので、若干スケジュールが変わる場合があります。

## 9 国際社会学

【倉 真一 准教授】火曜1時限 定員:5名

### 【講義内容】

本講義では国際社会学の基本的な考え方や理論について紹介するとともに、地球規模の社会変動と人々の持つリアリティやアイデンティティ、生活世界の変容といった事態に切り込んでみたい。国際社会学のなかでも中心的テーマとなっている「グローバル化」「エスニシティ」「国際移民」「ネーションとナショナリズム」を取り上げる。まとめに代えて「多文化主義」についても取り上げたい。

### 【受講生へのメッセージ】

自分たちのアイデンティティや日々の生活の背景に、地球規模の社会変動が影響していることを「自覚」かつ「反省」（振り返り）しつつ、新たな社会（連帯）を「想像」し「構想」できる力がこれから大切になると思います。

## 10 マス・コミュニケーション論

【四方 由美 教授】金曜3時限 定員:5名

### 【講義内容】

情報化社会といわれる今日、私たちの社会生活は、新聞やテレビなどのマス・メディアを抜きにして成り立たしません。また、昨今のインターネット環境は情報化を加速させています。そこで、マス・コミュニケーション論では、メディアの影響に関する研究成果を学びながら、メディア・リテラシー（メディアを読み解き活用する能力）を獲得することを目標とした講義を行ないます。

### 【受講生へのメッセージ】

マス・メディアに関する初歩的な事柄から学びたい方にお勧めです。学生たちと一緒にメディア・リテラシー（メディアを読み解き活用する能力）を磨いてみませんか。

## 11 情報社会学

【梅津 顕一郎 准教授】木曜2時限 定員:5名

### 【講義内容】

情報化の進展によって私たちの社会生活は激変しました。今日われわれが経験する社会生活は、確かに情報あるいは情報テクノロジーを抜きには考えられないものです。では、私たちの今の生活はこれまでと具体的にどう違い、そしてどのような意味を持っているのでしょうか。現代人、特に若者層における「社会意識」の変化に着目し、社会学の立場からこの問題を考えていきたいと思ひます。

### 【受講生へのメッセージ】

昨年に引き続き若者の社会的アイデンティティについて取り上げます。政治、消費行動、進路選択、人間関係に現れる彼らの意識の在り方が、時代史的に何を意味し、どのような未来を予兆しているのかについて、具体的な事例に基づきながら考えてゆきます。

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 12 国際法

【田村 恵理子 准教授】月曜4時限 定員:5名

### 【講義内容】

国際法の基本的な成り立ちと歴史的展開を学び、かつ、主要な分野—領域、平和と武力行使、紛争解決、人権、経済、環境など—の基礎と争点について学びます。その中で、日本の政策や法律・制度を相対化し、新たな視点で考えることも試みます。

### 【受講生へのメッセージ】

「国際法」と一言でいってもその内容は多様で豊富です。国際関係はすべて何らかの国際法を基礎とし、関係しています。講義を通してその具体的側面に触れてください。

## 13 マクロ経済学

【久保 和華 准教授】月曜5時限 定員:5名

### 【講義内容】

本講義の目的は、マクロ経済学のコアをやさしく解説し、経済関連科目のための「入門の入門」とする。取り扱う範囲はこの科目の基礎の一部分に限定される。経済に対する興味を喚起することもねらいとする。

### 【受講生へのメッセージ】

公立大学の学生と一緒にマクロ経済学を学んで、宮崎や日本の未来を考えてみませんか。

## 14 行政論

【有馬 晋作 教授】木曜1時限 定員:5名

### 【講義内容】

行政論は、主に自治体の行政活動について、行政学と行政法を用いて学びます。市民として行政を理解するのに必要な知識を取得できるようにしており、学生が社会に出て役立つような講義を目指しています。

### 【受講生へのメッセージ】

「行政」という言葉は難しい感じがしますが、自治体の行政サービスなど身近な例を用いて説明します。ただ、内容的には、行政学と行政法と皆さんがあまり学ぶことがない分野ですが、興味を持って学んでほしいです。

## 15 政治学

【山口 裕司 教授】木曜3時限 定員:5名

### 【講義内容】

政治学の比較の基準に「ジェンダー（社会的文化的性差）」を据えます。本講義のねらいは、日本のジェンダー政治を他の先進諸国と比較しながら、日本の現状と課題を解明することにあります。特に、国会における女性議員の少なさが日本の大きな課題の一つです。このような授業を受講することで、ジェンダー政治学的な基礎教養を身に付けてもらいたいです。

### 【受講生へのメッセージ】

男女共同参画社会、フェミニズム、ジェンダー、に関心のある方、こうしたテーマと政治の関連を学びたい方は、とくに受講をおすすめします。テキストはありません。毎回、事前にプリントを配布します。

## 16 中国政治経済論

【稲田 光朗 助教】金曜3時限 定員:5名

### 【講義内容】

本講義は、改革開放政策開始以来30年以上に渡る著しい中国の経済発展を中心的テーマとして取り上げ、開発経済、移行経済、国際貿易の観点から学習します。本講義では教科書と講義ノートを利用します。扱われるトピックスは中国における経済成長の過去と将来、計画経済から市場経済への移行、労働市場、外資系企業からの技術導入、国有企業の役割、WTO加盟と技術移転、民間企業の発展と産業集積、中国経済の今後の課題を含みます。

### 【受講生へのメッセージ】

講義では、中国経済を理解する上で必要なミクロ経済学やマクロ経済学、国際経済学の基礎理論や専門用語について、できる限り補足説明を行います。みなさまの講義への積極的な参加を歓迎します。

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 17 日本国憲法入門

【有馬 晋作 教授】金曜2時限 定員:5名

### 【講義内容】

現行憲法の基本理念である「平和主義、国民主権、基本的人権の尊重」を中心に、関係条文を紹介しながら、憲法と生活との関係を分かりやすく講義する。このことにより、今後、一国民、一市民として、自分を取り巻く社会問題など諸環境について、憲法の観点から把握する力をつけさせる。

### 【受講生へのメッセージ】

憲法は、難しく実際の生活とは縁遠いと思われがちですが、できるだけ、憲法を実際の生活に結び付けて講義しますので、興味がある人は受講してください。

## 18 自然災害と防災・減災

【辻 利則 教授ほか】月曜5時限 定員:20名

### 【講義内容】

本講義は、「命は自分で守る(自助)」、「地域で活動する(共助・協働)」、「災害発生のしくみを学ぶ(科学)」、「災害に関わる情報を知る(情報)」、「減災や危機管理の手法(予防・復興)」の5分野に大きく分けられる。災害の発生のしくみを理解し、防災・減災について行政・地域の課題、災害心理や情報伝達の困難さなどについて学び、災害時のみでなく、普段からの対策が必要であることを理解する講義です。この講義を受講し、一定の基準をパスすれば、防災士試験の受験資格を得ることができます。

### 【受講生へのメッセージ】

自然災害はいつ起こるか分かりませんが、災害発生の仕組みや起きたときの心構えを学ぶことで被害から免れたり(防災)、被害を少なく(減災)できます。学生たちと一緒に学んでみませんか。

## 7. 科目一覧早見表（平成28年度後期開放授業）

### ①科目一覧

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

| No. | 科目名            | 担当     | 時間割<br>(曜・時限) |
|-----|----------------|--------|---------------|
| 1   | 宮崎地域研究         | 永松     | 木1            |
| 2   | 異文化間コミュニケーションB | Ducker | 月3            |
| 3   | 文化人類学          | 李      | 水3            |
| 4   | 現代イギリス小説       | 中山     | 木3            |
| 5   | 中国文化論          | 田宮     | 木2            |
| 6   | 英語学概論          | 福田     | 月5            |
| 7   | 倫理学            | 川瀬（和）  | 水3            |
| 8   | 広告文化論          | 森津     | 月4            |
| 9   | 国際社会学          | 倉      | 火1            |

| No. | 科目名           | 担当 | 時間割<br>(曜・時限) |
|-----|---------------|----|---------------|
| 10  | マス・コミュニケーション論 | 四方 | 金3            |
| 11  | 情報社会学         | 梅津 | 木2            |
| 12  | 国際法           | 田村 | 月4            |
| 13  | マクロ経済学        | 久保 | 月5            |
| 14  | 行政論           | 有馬 | 木1            |
| 15  | 政治学           | 山口 | 木3            |
| 16  | 中国政治経済論       | 稲田 | 金3            |
| 17  | 日本国憲法入門       | 有馬 | 金2            |
| 18  | 自然災害と防災・減災    | 辻  | 月5            |

### ②授業時間

[午前]

1時限 8:50～10:20

2時限 10:30～12:00

[午後]

3時限 13:00～14:30

4時限 14:40～16:10

5時限 16:20～17:50

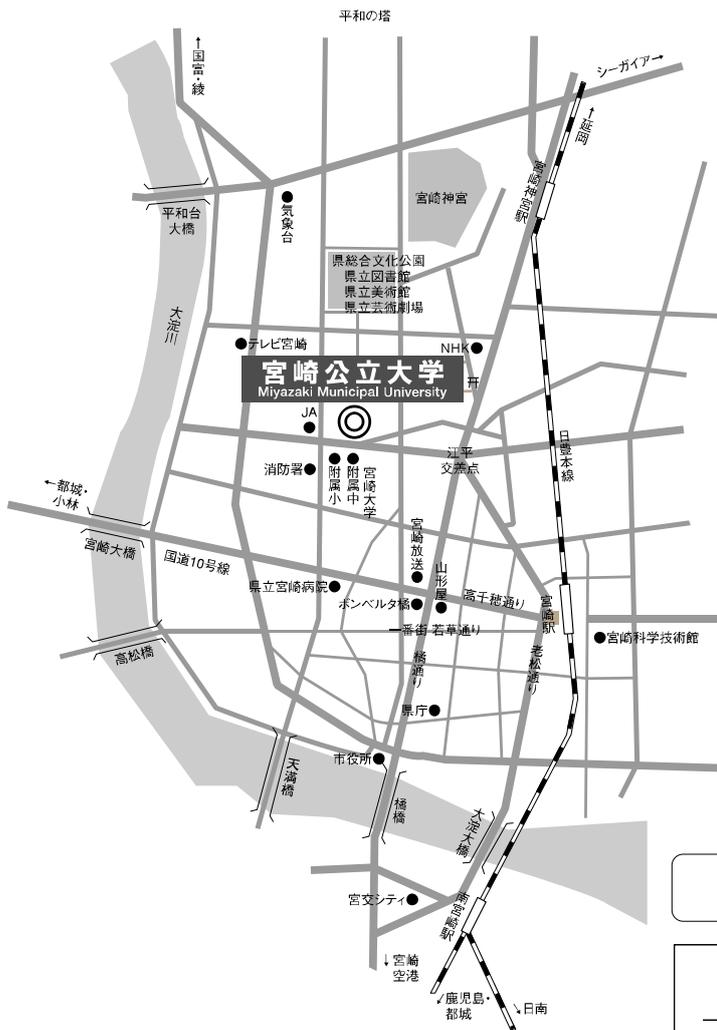
6時限 18:00～19:30（補講）

### ③曜日別一覧

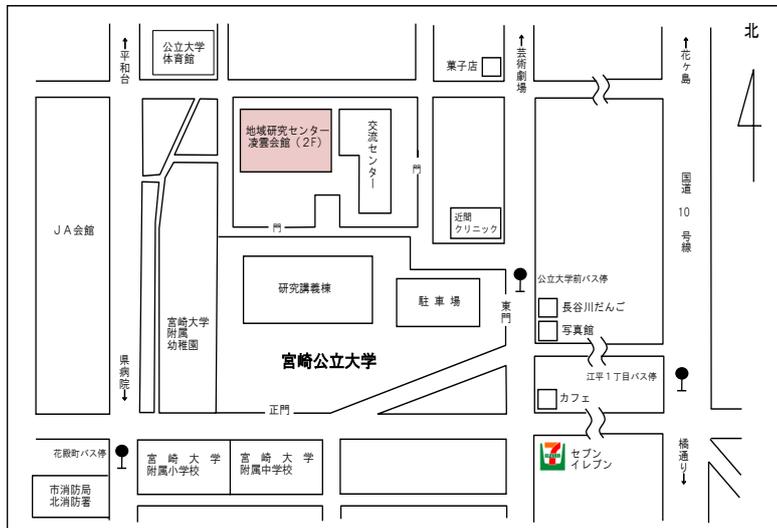
|   | 月              | 火     | 水     | 木        | 金             |
|---|----------------|-------|-------|----------|---------------|
| 1 |                | 国際社会学 |       | 宮崎地域研究   |               |
|   |                |       |       | 行政論      |               |
| 2 |                |       |       | 中国文化論    | 日本国憲法入門       |
|   |                |       |       | 情報社会学    |               |
| 3 | 異文化間コミュニケーションB |       | 文化人類学 | 現代イギリス小説 | マス・コミュニケーション論 |
|   |                |       | 倫理学   | 政治学      | 中国政治経済論       |
| 4 | 広告文化論          |       |       |          |               |
|   | 国際法            |       |       |          |               |
| 5 | 英語学概論          |       |       |          |               |
|   | マクロ経済学         |       |       |          |               |
|   | 自然災害と防災・減災     |       |       |          |               |



# 宮崎公立大学位置図



## 拡大図



### [交通案内]

- 徒歩 JR宮崎駅から約25分
- 乗用車 JR宮崎駅から約5分
- バス 宮崎交通バスにて宮交シティ(バスセンター)から約30分  
(大学最寄りのバス停は「花殿町」または「公立大学前」または「江平一丁目」)

宮崎公立大学 地域研究センター  
 〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階  
 TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773